地域座談会（由良地区）　意見交換記録

と　き　　平成２３年５月２４日（火曜日）
午後７時３０分から午後９時２５分
ところ　　中央公民館大栄分館
参加者　　１７人

番号	項　目	町民等からの意見等要旨	町からの発言要旨
1	水害対策について	●昭和 9 年の水害をはじめ、過去には北栄町でも災害があったようだが、由良川の水位も上がってきているし、土地の高低（標高）についての調査、災害全般について計画してほしい。	●町ではH20 年に洪水と土砂災害のためのハザードマップを作成し、全世帯に配布しています。マップにはどの辺りがどの位浸水するかという情報を記載しています。由良川改修で一時的に水位が上がっても早く水が引くようになっています。どこがどういう災害が起きやすいか考慮しながら対策をすすめています。 北栄町で起こりうる津波の最大の高さは 1.5～1.6mと想定されています。由良川沿いや天神川河口は若干浸水する予想です。町では津波ハザードマップを作成していませんが、県で津波の浸水予測図を作っています。 今回のように想定外の事も起きますので、県も津波の予測を見直すということで、県の予測が出ましたらそれに沿って北栄町でも対応をとっていきます。
2	人口増加対策について	●町が栄えるには、人口増加が基本だと思う。子ども支援の充実が必要だと考えるがどのような町づくり計画を考えているのか。	●今年度から不妊治療の助成（17 万 5 千円）を実施しています。 子育て支援の分野では、今年で 3 年目になりますが保育料の１割軽減を実施し、保育の質の向上にも努力しています。また、幼保一元化の保育料は基本的に現状より上がらないようにと考えています。 雇用形態も非正規の方が多いので、正規での雇用を増やすことが必要です。

		●現在は共働きが多く、昔に比べ贅沢な生活になってしまった。生活意識を変えるようなＰＲを考えてはどうか。 ●湯梨浜町の人口増との違いの認識は。	●核家族が多くなっている。国勢調査では北栄町では人口が 600 人も減ったが世帯数が増えています。 ●湯梨浜町は保育料が安いため、若い人が多く転入しているが、現在は人口増加が止まったようです。湯梨浜町は国道 179 号も通り、天神川にも遮られることなく倉吉市に接しています。一方、北条地区側へは天神橋を渡る必要があり、南側からは向山に遮られるといった地理的な面での差があると感じています。
3	国際交流について	●国際交流で台湾との交流があるが、将来的に北栄町にもたらすメリットは。	●難しい面がありますが、経済的な交流は良くなってきています。台湾は、親を大切にしたり、他人を大事にしたりといった人としての芯の部分が参考になります。教育面では中国語だけでなく英語にも力を入れています。良いところがたくさんあるので参考にしたい。
4	名探偵コナンなどについて	●青山剛昌ふるさと館の町民来館者が少ない。町民が利用しないといけない、自覚するような働きかけをしてほしい。 ●マンガ寺子屋は、マンガ文化の真髄を教えてくれるし、北栄町の情報を発信していかないといけないという事を論理的に素直に教えてくれるので貴重です。 ＰＲをもっとしてほしい。	●子ども達は来てくれているが、一般の方については、割引など色々な試みをしているが結果がでない状況です。今後も封筒やナンバープレートなどコナンを色々なところで使い皆さんにかわいがっていただき広めていきたい。名探偵コナンというキャラクターは、北栄町しか使えない貴重な財産なので大事にしていきたい。 ●明治大学の方にもいいアイディアをもらっていますし、町内のマンガクラブの方にも一緒になって実施していただいています。 コナンの町だと知っていただくのはお金にはかえられないものがあ

			りますので、いいアイディアをいただきながらなんとか知恵を絞って行っていきたい。 地元講演会やコンテスト募集も予定しています。地域に出てコナン館のすばらしさをＰＲしていきたい。周辺整備についての提案もありますが、地元の理解と協力が必要なことなのでよろしくお願いしたい。 国際マンガサミットでは、県の計画の中には鳥取～米子間にコナンのラッピング列車を走らせる計画があります。
5	議会議員の定数について	●鳥取県議会議員定数は 6 人でよいという報道があった。(10 万人に対して１人でよい)。鳥取県知事も反論している。北栄町において強いリーダーシップを発揮していただき町長さんの構想があれば聞きたい。	●二元制の中でバランスよく進めていき、マスコミに流されることなく思いのある中で議論することは良いことです。北栄町については、町づくりビジョンに基づいて住民の理解、議会の理解の上で進めていきたい。
6	高齢者サークル活動支援事業について	●高齢者サークル活動支援事業について、人数に対して助成されている方法が高齢化社会に適しているのか。社会が高齢化に追いつかない状況。	●高齢者サークル活動支援事業については琴浦の優良事例を参考にしました。助成し続けて参加してもらうのはどうかという点はありますが、きっかけづくりのため何年間か補助金を交付し、地域で頑張っていただくのが補助金制度の基本です。補助金が将来にわたり続くとは限りませんが、ひとつのきっかけになればと考えています。 北栄町は 65 歳以上の 2 割が介護認定を受け、県内でも 1、2 位を争う介護認定率です。このような状況の中で、介護する側、される側も大変で経済的にも負担が大きい。いつまでも健康で、一人でも二人でも介護を受けないようにしてほ

		●町の国民健康保険が県単位になるということだが、いつ頃からなのか。	しいという思いでサークルを考えています。 ●住む町によって国保税が違うという不公平があるものの、県単位で統一するのは一つの良い方法と思われますが、いつになるかは承知していません。 国保自体はかなりの市町村が赤字となっています。赤字のものを県が引き受けても県も大変なので国からの助成がないと受けないという経緯もあります。県一本には簡単には進まない状況ですが、近い将来にはそのような方向に進むのだろうと思われます。
7	国民健康保険税について	●国民健康保険税が毎年のように上がっているが、今年も上がるのか。	●今年は上げない予定です。 特別会計で国保に加入している方で負担して運営するのが本来の姿ですが、赤字で基金も何もない状況なので一般会計で補てんしています。町民の 3 分の 1 が国保加入者で、残りが社保などです。一般会計からの補てんがどうかという議論もあり、基本は独立採算が望ましいと考えます。
8	財政状況について	●公務員の給与は、国は 10%カット。国保税・介護保険料・電気・下水道の料金が上がる状況で住民の負担が多くなる。夕張市と同じようにならないように。保育士の人数が多く人件費がかかる。	●合併当時、財政調整基金は 7 億円あり、平成 22 年度は 10 億円になりましたが、これを減らさないように維持していきたい。いつ国の財政が悪化して交付税が減っていくのか分からない状況なので、厳しい財政の中で運営していかないといけません。北栄町では合併特例債を活用して、基金造成をしました。町が 3 割を負担し残りの 7 割を国が負担してくれる仕組み。合併して10年までは今までどおりの額の交付税が交付されますが、10 年過ぎると徐々に減額されま

			す。今は合併の恩典で算定額が増えている。貯金（基金積立）をしながら毎年毎年、財政を切り詰めて財政運営している状況です。 介護の問題でも、どの部分に予算を使うのか、介護サービスにお金に使うのか、それを使わないために予防に使うかという問題があり、予防の方に重点を置きたいので、ご理解をお願いします。
9	庁舎統合について	●庁舎統合費用の試算は。 ●建設資材が 1.5 倍以上高騰しているが。	●細かな詳細は未定ですが、大まかところでは 4 億円程度かかると見込んでいます。 ●必要最小限に抑えながら考えていきたい。
10	小・中学校の学力調査について	●小・中学校の全国学力調査は今年もあるのか。 ●学力調査が実施されなければ何も行わないのか。	●今のところ震災の影響をうけて 7 月までは実施しないという国の方針が出ています。7 月以降についても今のところは未定という状況です。 ●全国学力調査を活用させてもらうということでやっています。他の標準テストは学校が独自に取り組んでいます。県全体で実施するテストはなく、小・中学校国語・算数診断テストというのをそれぞれの教科の部会でやっているというものがある程度です。